

明けましておめでとうございます



羊の命(めい)と
芝沢小6年2組の子どもたち



新村の人口・世帯数
平成27年1月1日現在
人口 3,358人
世帯数 1,283世帯

新年のご挨拶



町会連合会長
北原 明夫

昨年は、中部縦貫自動車道・一般国道158号松本波田道路問題で明け暮れました。説明会で議論をし、要請書をまとめ、回答の説明を受けました。新村地区対策委員会は、道路設計にご理解いただいたこととし、次の段階(用地幅杭の設置)へ進む事を認めました。今後は、事業の進捗を見守りながら、具体的な要望をまとめ、地区の活性化に繋がるよう交渉してまいります。また、環状高家線のバイパスルート提示を早めるよう、要求してまいります。

新村地区では、各種団体組織が活発に事業を行っていただいています。

これからは、相互に情報交換しながら、地域課題を掘り起こし、共有化し、解決していく協議会を立ち上げます。住みやすい新村づくりに、ご協力をお願い致します。

プチ送迎に、 アイシティ行き 新ルート加わる!



プチ送迎では、利用者皆様のアンケートで、希望が多かった「アイシティ送迎」をさる12月3日から開始しました。利用された5名の皆様からは「久しぶりに、買物の楽しみが味わえた。」「1箇所ですべて用が足りた。店内を見る楽しみもあった。」「アイシティ行きが待ち遠しかった。回数も増やして欲しい。」「など、口々に喜びの声が聞かれ、たいへん好評の中でのスタートとなりました。

さて、プチ送迎もこれから、雪道や凍結道路の運転が多くなり一層の安全運転が求められます。そんな時、タイヤ専門店(株)大商様より冬用タイヤの寄贈がありました。

「より安全運転を心掛けた」と上原会長は喜びを語っていました。



穂束八

新年の1月1日。人によって過ごし方はさまざまである。初詣に向かう人もいれば、蹴り出かける人もい

る▼新村地区では元日の朝早くに「元旦マラソン」という行事を行っている。農村広場の周りの田んぼ道を走るものだが決して競争などではない。ひとりひとりがそれぞれのペースでゴールに向かって走り、今年初の「頑張り」をする。走りながら「今年はこの年にしよう」と目標を掲げ、ゴールをした時にはその目標のスタートを切ることになる▼今年はいくの大雪で、農村広場内でのマラソンとなったが、走り終わって達成感に満ち溢れた笑顔を見ると、「今年も走ることができてよかったな」と感じる▼しかし近年、若者の参加率があまり良くないように思う。今年で40回目という節目を迎えた元旦マラソン。これからも多くの人のそばにあり続ける行事であってほしいと思う。

地区から

こんにちは

へきよりの山王町会



盛り上がる敬老会

今更ながらですが、新村で2番目に小さい、私たちの町会を紹介します。

元々この場所は、大正11年に新村駅が出来るまで、あまり人家のない場所でした。

現在住んでいる人の殆どは、それ以後住み始めた方たちです。そんな方たちと暮らしています。

やる時はやる町会で人材も豊富、運動面でも卓球やソフトバレーボールなどは新村地区の大会でも活躍します。公民館行事も盛んで、研修旅行などは大盛り上がりです。皆さん、きよりの良い山王町会、遊びにいらしてください。

ものぐさ紹介

シリーズ

へきよりの山王町会

この会は、月2回流派は問わず、略式お点前(盆点)でお稽古しています。気軽に銘々がお茶を点て、四季折々のお菓子で一服癒しのひと時を過ごしています。

初釜には濃茶お菓子はお花びら餅、薄茶には干菓子、懷石は松花堂弁当を取り寄せ、1日お茶会を開いています。お花見の頃、温泉行きを計画して、ゆつくり温泉に浸り、憩いの場を持ちます。できれば



気軽に楽しむお茶会

ば、お城の茶会に参加して勉強を、と思っています。会費は500円、日時は第2・第4火曜日の午前9時半〜11時までです。いつでもおいしいお茶を一服どうぞ。

駅舎保存先進地視察研修

12月10日(水)、新村駅舎を残す会の会員と一般参加者、職員合わせ14名で新潟市月潟を訪れ「かぼちゃ電車保存会」の活動を視察しました。旧月潟駅舎と車両の保存活動の実態や利活用のアイディア等について、保存会の方々と市の担当者との意見交換を行いました。新村駅舎の今後について改めて考える機会となりました。



旧月潟駅舎外観

弁護士会による福祉講演会

11月15日(土)、町会福祉部主催の講演会に90名の参加者が集い「特殊詐欺から身を守るには」というテーマで若手弁護士の話に真剣に耳を傾けた。

後半では嫁姑が登場し、高齢者の多額預金をめぐる騒動を演じて会場を沸かせた。参加者は忍び寄る詐欺被害の現状を深刻に考えるよい機会となったのではと思う。

ものぐさ大学

美術館めぐり

古代と現代美術

11月26日(水)初冬の雨の朝31名の参加者は、尖石縄文考古館にて、国宝の「縄文のビーナス」「仮面の女神」の土偶を見学した。レプリカではあったが、一度は観たかったと好評でした。

午後は、平山郁夫シルクロード美術館で迫力の大作を目の前にして、画伯の力量と遠く異国の文化に思いを馳せる美術鑑賞となりました。

特別講座

世界遺産・富岡製糸場を学ぶ

12月18日(木)、33名が参加し、群馬県の富岡製糸場を訪れました。移動中の車内で富岡製糸場の歴史や世界遺産として価値、更に新村の養蚕業について学習し、現地ではガイドの案内のもと、創業当時から残る建物とその役割について



ガイドの説明に興味津々

学び、実りの多い講座となりました。

松本大学生
ホストアンサー
vol.8

Q 大学生のバイト状況は？
A 今回は、松本大学観光ホスピタリティ学科の3年生25人に今のアルバイト状況について調査しました。

調査内容は、4項目です。はじめに、業種で最も多かった場所は飲食店で、次いで多かったのがコンビニエンスストアという結果になりました。数少ない回答だと、洋服屋や保育園、期間限定のスキー場で働いている人もいました。

1週間の平均日数は3日間です。多い人だと、週に6日間働いている人もいます。

1回の平均時間は6時間です。平日学校帰りに少し働きます。休日には丸1日働くスタイルが多いようです。多い人では1回に10時間働いているという人もいました。

平均時給は810円です。夜10時以降金額の変わる店もあります。今回調査した中の最低金額は750円でした。

3月からの就職活動を控えた3年生は、自分の将来へ繋がるようなバイト選びをしていることが印象的でした。

バイトでの社会経験を今後の就活や仕事で活かしているほしいと思います。